

## 8 教育委員会

<b>事業</b>	801	<b>事業名</b>	「教育・子育てのまち三鷹を考える懇談会（仮称）」の設置等の検討	<b>重点管理</b>
-----------	-----	------------	---------------------------------	-------------

業コード)	805101	(部課コード)	805
対象事業名	「教育・子育てのまち三鷹を考える懇談会（仮称）」の設置等の検討		部課係名 教育委員会 生涯学習課
計画の掲載	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	202 <sup>ハ</sup> - <sup>ツ</sup> 掲載	記入者名 内田 邦夫 内3311
体系	第6部第3・9-(1)-	6300911	歳出科目
事業名	教育・子育てのまち三鷹を考える懇談会（仮称）」の設置等の検討		(款・項・目・事項)
	第6部第1・1-(1)-	6100111	補助区分 <input type="checkbox"/> 国補助 <input type="checkbox"/> 都補助 <input type="checkbox"/> 市単独
	教育・子育てのまち三鷹憲章（仮称）」制定の検討		関連計画
	第 部 第 - ( ) -		関係法規

の目的< 対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)>

(対象)  
子ども  
(意図)

すべての子どもの人権が尊重されるなかで、三鷹らしい教育の実現を目指す。

事業の概要・期間 単年度 複数年 (始期: 14年度 ~ 終期: 22年度)

教育・福祉関係者や市民等で構成する「教育・子育てのまち三鷹を考える懇談会（仮称）」を設置する。全ての子どもの人権が尊重されるまちを目指す「教育・子育てのまち三鷹憲章（仮称）」の制定を検討する。事務局は企画部・健康福祉部と共同で進めていくものとする。

当該事務に従事する実質職員数 0.5 人

今年度の事業・業務量の説明

21世紀構想推進本部による「教育・子育て支援のまちづくり推進会議」を設置し、庁内各部課の職員により「教育・子育てのまち三鷹を考える懇談会（仮称）」、「教育・子育てのまち三鷹憲章（仮称）」等の検討を行う。

今年度のまちづくり指標の説明

「教育・子育て支援のまちづくり推進会議」の設置  
「教育・子育てのまち三鷹を考える懇談会（仮称）」の設置

今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標

他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値

年度別明細	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成
事業・業務量			推進会議を設置し、「懇談会（仮称）」「三鷹（憲章（仮称）」等の検討を行う。	推進会議を設置、公立幼稚園廃園後の活用策及び懇談会の構成等について検討した。
まちづくり指標 行政指標 協働指標			「教育・子育てのまちづくり推進会議」の設置 「教育・子育てのまち三鷹を考える懇談会（仮称）」の設置	「教育・子育てのまちづくり推進会議」の設置 「教育・子育てのまち三鷹を考える懇談会（仮称）」の構成（案）の作成
予算額(千円)			0	0
決算額(千円)				0
執行率(%)				

年間の実施スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画			・推進会議の設置	→	→	→	→	→	→	→	→	→
				→	→	→	→	→	→	→	→	→
				→	→	→	→	→	→	→	→	→
結果			・推進会議の設置・開催(7月)	→	→	→	→	→	→	→	→	→
				→	→	→	→	→	→	→	→	→
				→	→	→	→	→	→	→	→	→

変更計画の説明 (事後評価時)

懇談会の設置は、新体制の下の対応とした。

事業	801	事業名	「教育・子育てのまち三鷹を考える懇談会（仮称）」の設置等の検討	重点管理
----	-----	-----	---------------------------------	------

事業コード)	805101	(部課コード)	805
象事業名	「教育・子育てのまち三鷹を考える懇談会（仮称）」の設置等の検討	部課係名	教育委員会 生涯学習課
<b>主管課事後評価</b> 進捗状況評価（計画どおり<計画以上進捗を含む>・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない） <input type="text"/>			
理由・推進会議を設置し公立幼稚園廃園後の活用策を検討した。 懇談会の発足は新体制の下での対応とすることとする。 成果に対する評価（大・中・小又はなし） <input type="text"/>			
理由・庁内の推進会議を設置した。公立幼稚園廃園後の活用策を検討し、一定の方向を出すことが出来た。 懇談会の構成を検討したが、発足は新体制の下での対応とした。 効率性・経済性に対する評価（高・中・低） <input type="text"/>			
理由・個別課題について専門チームでの検討を行い、効率化を図った。  <b>総合評価</b> 庁内の推進会議での検討を行うことが出来たが、懇談会の設置は今後の課題となっている。			
<b>事業事前審査会事後評価</b> 進捗状況評価（計画どおり<計画以上進捗を含む>・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない） <input type="text"/>			
理由・  成果に対する評価（大・中・小又はなし） <input type="text"/>			
理由・  効率性・経済性に対する評価（高・中・低） <input type="text"/>			
理由・  <b>総合評価</b> 推進会議のもとに関係各課と連携を密にし、新体制以降、早急に懇談会の立ち上げについて検討することが望ましい。			

事業	802	事業名	第一小学校スーパーリニューアル基本計画の実施	重点管理
----	-----	-----	------------------------	------

業コード)	802102	(部課コード)	802
対象事業名	第一小学校スーパーリニューアル基本計画の実施	部課係名	教育委員会 施設課 (局・室)
計画の掲載	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 206ページ掲載	記入者名	菅原 正 内3222
体系	第6部第4・2-(2)- 6400224	歳出科目	一般会計 款:10教育費 項:2小学校費
事業名	耐震補強工事等に併せたスーパーリニューアルの実施	(款・項・目・事項)	目:4学校建設整備費 事項:1諸建設事業費
計画体系	第3部第3・3-(5)- 3300353	補助区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助 <input type="checkbox"/> 都補助 <input type="checkbox"/> 市単独
業名	道路・公園・公共施設等のバリアフリー化の推進	関連計画	地震防災緊急事業五箇年計画
画体系	第 部 第 - (-) -	関係法規	地震防災対策特別措置法
業名			
の目的<対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)> (対象) 第一小学校  (意図) 老朽化した第一小学校のスーパーリニューアルを実施するにあたり、ワークショップ手法の採用など児童や市民検討会議等により耐震性の優れた、かつバリアフリーや学校公園化などを実現するために基本計画を策定する。			
の概要・期間 <input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度 (始期: 14年度 ~ 終期: 18年度) 平成14年度 スーパーリニューアル基本計画策定 (平成15年度 スーパーリニューアル実施設計) (平成16~18年度 スーパーリニューアル工事)			
当該事務に従事する実質職員数 0.3人			
<b>度の事業・業務量の説明</b> スーパーリニューアルについて、ミニワークショップ手法など児童や近隣住民と協働・検討し、今後の設計や工事に反映させるための基本計画を策定する。			
<b>度のまちづくり指標の説明</b> スーパーリニューアル基本計画を策定する。 市民と協働の計画づくりとして市民検討会議を開催する。 児童と協働の計画づくりとしてアンケートを実施する。			
今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標 体の先進的な取り組み成果・参考実績値			

事業	801	事業名	第一小学校スーパーリニューアル基本計画の実施	重点管理
----	-----	-----	------------------------	------

		802102 (部課コード)		802
価対象事業名	第一小学校スーパーリニューアル基本計画の実施		部課係名	教育委員会 施設課 (局・室)
明細	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成
			基本計画策定委託 市民検討会議4回 実施 児童アンケート1 回実施	基本計画策定完了 市民検討会議8回 実施 「子供たちのゆめ」 の作品発表
づくり 指標 指標			基本計画の策定 市民検討会議の 延べ参加人数 児童アンケートで 集まった数	基本計画策定完了 市民検討会議の 延べ参加者252名 アンケート回答 率71.7%
予算額(千円)			3,150	3,150
決算額(千円)		0		2,625
執行率(%)		0		83.3%

ジュール												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画			●		●	●						●
					●	●						●
					●	●						●
結果					●							●
					●							●
												●
												●

更計画の説明 (事後評価時)

1、基本計画委託は実績に合わせた。2、市民検討会議は、10月11日から2月22日まで延べ8回実施した。また、児童参画として、4・5・6年生の子供たちのゆめを全体発表会で発表した。

主管課事後評価

進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない)

理由・第一小学校スーパーリニューアル基本計画策定の進め方に基づき、市民と協働で計画を策定する市民検討会議を延べ8回実施した。また、児童や教職員・PTAの参画も計画どおりに実施できた。

成果に対する評価 (大・中・小又はなし)

理由・スーパーリニューアルに関するアンケート集計や、子どもの夢、教職員・PTAからの提案等も、市民検討会議でまとめることができた。

効率性・経済性に対する評価 (高・中・低)

理由・市民検討会のメンバーは、大半が学校関係者や近隣住民であり、会議の進め方について共通認識を持たせる必要があった。このためアンケートの集計まで8回の実施を必要とした。

総合評価・第一小学校スーパーリニューアル実施に向け、多くの学校関係者や近隣住民からなる市民検討会議を設置、ミニワークショップを実施し、市民協働を果たせた。

事業事前審査会事後評価

進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない)

理由・

成果に対する評価 (大・中・小又はなし)

理由・

効率性・経済性に対する評価 (高・中・低)

理由・

総合評価 スーパーリニューアル基本計画をもとに、計画事業費及び予定特定財源を念頭に置きながら、事業効果の高い効率的な整備計画を詰めていくことが必要とされる。

事業	803	事業名	市立幼稚園の廃止	重点管理
----	-----	-----	----------	------

コード	803103 (部課コード)		803	
価対象事業名	市立幼稚園の廃止		部課係名	教育委員会 学務課
本計画の掲載	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	200ページ掲載	記入者名	桜井英幸 内3230
画体系	第6部第3・2-(1)-	6300211	歳出科目	
画事業名	市立幼稚園の廃止		(款・項・目・事項)	
			補助区分	<input type="checkbox"/> 国補助 <input type="checkbox"/> 都補助 <input type="checkbox"/> 市単独
			関連計画	三鷹市行財政システム改革実施方針
			関係法規	三鷹市立学校設置条例

業の目的< 対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)>  
 対象) 三鷹市立幼稚園3園  
 意図) 私立幼稚園の補完として設置した公立幼稚園の役割は終わりつつあり、今後は幅広い子育てを支援する施策への転換が必要である。

業の概要・期間  単年度  複数年 (始期: 13年度 ~ 終期: 19年度)  
 を平成17年4月1日に、ちどり幼稚園を平成18年4月1日に、こじか幼稚園を平成19年4月1日に廃止する。

当該事務に従事する実質職員数 0.5人

今年度の事業・業務量の説明

6月市議会に、関係する条例「三鷹市立学校設置条例の一部を改正する条例」を提案  
 6月議会(議案議決)後の取り組みとしては、保護者への説明 私立幼稚園との協議 今後の施設活用及び幅広い子育て支援を検討する庁内推進チームの発足 「教育子育てのまち三鷹を考える懇談会(仮称)」の意見を聴く

今年度のまちづくり指標の説明

庁内推進会議の立ち上げ及び教育・子育て支援のまち三鷹を考える懇談会(仮称)の立ち上げ

他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値

公立幼稚園設置状況

武蔵野市1園、府中市3園、日野市6園、清瀬市1園、東久留米市3園、多摩市1園

年度別明細	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成
事業・業務量			跡地活用を検討する庁内推進会議及び「教育・子育てのまち三鷹を考える懇談会(仮称)」の立ち上げ	跡地活用を検討する庁内推進会議による検討
まちづくり指標 行政指標 協働指標			幼稚園跡地活用の検討	幼稚園跡地活用の検討
予算額(千円)	0	0	0	0
決算額(千円)	0	0	0	0
執行率(%)				

年間の実施スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画			議会	廃止決定の広報		募集広報	園児募集					
結果			議会 廃園に関する条例が6月定例市議会において可決された	廃止決定の広報		募集広報	園児募集					

変更計画の説明

事業	803	事業名	市立幼稚園の廃止	重点管理
----	-----	-----	----------	------

(事業コード)	803103		(部課コード)	803	
評価対象事業名	市立幼稚園の廃止		部課係名	教育委員会	学務課 (局・室)
事後評価	<b>主管課事後評価</b> 進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない) <span style="float: right;">2</span> 理由・6月の定例会議において、廃園に関する条例が可決された。条例改正の後、庁内推進会議での事務的案はまとまったが、市長への具申に至らなかった。 成果に対する評価 (大・中・小又はなし) <span style="float: right;">1</span> 理由・事務的な案としては一定のまとめができた。 効率性・経済性に対する評価 (高・中・低) <span style="float: right;">1</span> 理由・最終決定に至っていないので、最終の評価はできないが、事務的レベルでの一定評価である。 総合評価 目標の最終段階までの到達には至らなかったが、一定の進捗はあった。				
	<b>事業事前審査会事後評価</b> 進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない) <span style="float: right;">[ ]</span> 理由・ 成果に対する評価 (大・中・小又はなし) <span style="float: right;">[ ]</span> 理由・ 効率性・経済性に対する評価 (高・中・低) <span style="float: right;">[ ]</span> 理由・ 総合評価 今後の教育・子育て支援施策全体の検討の中で、廃園後施設の利用についての最終案の検討をすることが望ましい。				

事業	804	事業名	学校・家庭・地域イントラネット事業の拡大	重点管理
----	-----	-----	----------------------	------

(事業コード)	804104		(部課コード)	804	
評価対象事業名	学校・家庭・地域イントラネット事業の拡大		部課係名	教育委員会	指導室 (局・室)
基本計画の掲載	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	83ページ掲載	記入者名	吉原	内3247
計画体系	第2部第1・4-(4)-	2100441	歳出科目		
計画事業名	学校インターネット構想の展開		(款・項・目・事項)		
計画体系	第 部 第 - ( ) -		補助区分	<input type="checkbox"/> 国補助	<input type="checkbox"/> 都補助 <input type="checkbox"/> 市単独
計画事業名			関連計画		
計画体系	第 部 第 - ( ) -		関係法規		
計画事業名					
事業の目的<対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)> (対象) 三鷹市公立小・中学校 (意図) 学校週5日制下の三鷹市公立学校における家庭・地域と連携した情報化の推進を図るとともに、学校を核とした新しい地域コミュニケーションの形成を図る。					
事業の概要・期間 <input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度 (始期: 12年度 ~ 終期: 15年度) 日本IBMの技術支援を受け、市内の公立学校と児童・生徒の家庭や地域住民3,000人以上をブロードバンド(高速大容量)インターネットで結び、保護者や地域住民が直接、学校教育に参加、協力できるシステムを構築する。 当該事務に従事する実質職員数 1.5人					
今年度の事業・業務量の説明 昨年度から先行してイントラネット事業に取り組んでいる4つの小学校を含めた8校で9月より運用を開始し、今年度からの2年間で全校の拡大を図っていく。					
今年度のまちづくり指標の説明 児童・生徒・保護者・地域住民等1,000人程度の参加者を見込む。					
今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標					
他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値 学校教育の場におけるブロードバンドの活用は全国初の試みである。					

事業	804	事業名	学校・家庭・地域イントラネット事業の拡大	重点管理
----	-----	-----	----------------------	------

コード)	804104 (部課コード)			804
価対象事業名	学校・家庭・地域イントラネット事業の拡大			部課係名
	教育委員会		指導室 (局・室)	
	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成
業務量	市内4つの小学校でイントラネットの準備会を設置	市内4つの小学校でイントラネットの実験研究を実施	小学校15校において、イントラネット事業を立ち上げる。	小学校全15校において、イントラネット事業を開始
づくり			参加者1,000人程度	参加者4,000人程度
予算額(千円)	0	0	0	0
決算額(千円)	0	0		0
執行率(%)	0	0		0

年間の実施スケジュール												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		昨年度の評価	8校連絡会の実施(既存4校を含む)			保護者、地域住民等への説明会の実施						
			←参加保護者、地域住民等の募集				←イントラネット事業の実施					
		キックオフセミナー実施	8校連絡会実施			8校連絡会実施		学校説明会実施		8校連絡会実施		平成14年度研究成果発表
							←イントラネット事業の実施、参加者の拡大、保護者・地域住民への説明会の実施					

計画の説明

<b>主管課事後評価</b> 進捗状況評価 ( 計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない ) <span style="float:right">1</span> 理由・ 全小学校15校でイントラネット事業を立ち上げることができた。	
成果に対する評価 ( 大・ 中・ 小又はなし ) <span style="float:right">1</span> 理由・ 年間の研究成果をまとめ、研究発表会で発表したことで、地域、保護者、教職員に対する理解を深めることができた。	
効率性・経済性に対する評価 ( 高・ 中・ 低 ) <span style="float:right">1</span> 理由・ 当初の目標よりも多くの参加者を得ることができた。	
総合評価 全15校の立ち上げ、そして多くの参加者を得ることができた点において、効果があったといえる。	
<b>事業事前審査会事後評価</b> 進捗状況評価 ( 計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない ) <span style="float:right"></span> 理由・	
成果に対する評価 ( 大・ 中・ 小又はなし ) <span style="float:right"></span> 理由・	
効率性・経済性に対する評価 ( 高・ 中・ 低 ) <span style="float:right"></span> 理由・	
総合評価	市内全校運用開始に向け、学校と関係部局が連携して事業を進めるとともに、内容面での効果測定が必要があると思われる。

事業	805	事業名	学校週5日制に伴う開放と地域との連携の推進	重点管理
----	-----	-----	-----------------------	------

(事業コード)	805105	(部課コード)	805
評価対象事業名	学校週5日制に伴う開放と地域との連携の推進	部課係名	教育委員会 生涯学習課
基本計画の掲載	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 206ページ掲載	記入者名	内田 邦夫 内3311
計画体系	第6部第4・3-(2)- 6400321	歳出科目	一般会計 款:2.総務費 項:2.総務管理費
計画事業名	子どもの遊び場としての学校開放の充実	(款・項・目・事項)	目:8.青少年育成費 事項:8.校庭遊び場開放事業費
計画体系	第6部第4・3-(1)- 6400311	補助区分	<input type="checkbox"/> 国補助 <input type="checkbox"/> 都補助 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独
計画事業名	学校開放の充実・整備	関連計画	
計画体系	第6部第4・3-(2)-	関係法規	
計画事業名	地域子どもクラブ(仮称)設置の検討		

事業の目的< 対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)>  
 (対象)  
 児童  
 (意図)  
 子ども達が地域での遊びを通して発達できるよう学校施設を活用した遊び場づくりを行う。

事業の概要・期間 単年度 複数年度 (始期: 13年度 ~ 終期: 22年度)  
 行政と市民が協働し市民ボランティアの参加等市民主体の遊び場づくりを行い、多様な遊びを通し、遊び場開放の参加者増を目指すよう平日、土曜日の校庭遊び場開放の充実を図る。また、教育・子育て支援のまちづくり推進会議で地域子どもクラブ(仮称)のモデル実施の検討を行う。  
 当該事務に従事する実質職員数 0.3人

今年度の事業・業務量の説明  
 平日校庭開放実施校は12校(予定)。土曜日校庭開放実施校は毎週15校で実施。  
 地域子どもクラブ(仮称)の設置の検討

今年度のまちづくり指標の説明  
 平日校庭開放実施校の増加、地域のボランティア等の参加による校庭開放事業の実施  
 事業参加者数、地域子どもクラブ(仮称)の設置の検討  
 今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標

他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値  
 世田谷プレーパークにおける市民参加の実践

年度別明細	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成
事業・業務量		土曜日校庭開放の隔週実施(午前中) 15校 平日校庭開放の実施 9校 (実施委員会による開放校数)	土曜日校庭開放の毎週実施(午前中) 15校 平日校庭開放の実施 12校 (実施委員会による開放校数)	土曜日校庭開放の毎週実施(午前中) 15校 平日校庭開放の実施 14校 (実施委員会による開放校数)
まちづくり指標 行政指標 協働指標			平日校庭開放実施校の増加(3校)、事業参加者数 地域子どもクラブ(仮称)の設置の検討 地域ボランティアによる市民主体の開放事業回数	平日校庭開放実施校が9校から14校に増加した(実施委員会による開放校数) 地域子どもクラブ(仮称)は生涯学習計画で検討 地域ボランティアによる市民主体の開放事業 3回
予算額(千円)		5,814	6,910	6,910
決算額(千円)		4,811		4,089
執行率(%)		82.7		59.2

年間の実施スケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画	←		平日校庭開放の実施										→
	←		土曜日校庭開放の実施					・ボランティア参加事業		・ボランティア参加事業			→
結果	←		平日校庭開放、実施(実施校の増加)										→
	←		土曜日校庭開放の実施					・ボランティア参加事業		・ボランティア参加事業	・ボランティア参加事業		→

変更計画の説明

事業	805	事業名	学校週5日制に伴う開放と地域との連携の推進	重点管理
----	-----	-----	-----------------------	------

(事業コード)	805105	(部課コード)	805
象事業名	学校週5日制に伴う開放と地域との連携の推進	部課係名	教育委員会 生涯学習課
主管課事後評価	<p>進捗状況評価 (計画どおり&lt;計画以上進捗を含む&gt;・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない) <input type="text"/></p> <p>理由・ 遊ば場開放事業は、予定通り通年実施出来た。</p> <p>地域子どもクラブ(仮称)については、H15年度に策定を目指している生涯学習計画の中で検討した。</p> <p>成果に対する評価 (大・ 中・ 小又はなし) <input type="text"/></p> <p>理由・ 平日開放が平成13年度の9校から14校に増加した</p> <p>効率性・経済性に対する評価 (高・ 中・ 低) <input type="text"/></p> <p>理由・ 今年度から国の緊急雇用対策として教育活動補助員を平日・土曜日の開放に遊び指導者として従事してもらい、経費の削減・遊び内容の質の向上を図った。</p> <p>総合評価 青少年委員が中心となり「みたかあそび隊」を組織し、青少対、PTA等と連携を図り、土曜日の午前中(体育館)を使ってバルーンアート事業を行うなど市民が協力して、学校を拠点とした遊び場づくりを行うことができた。</p>		
事業事前審査会事後評価	<p>進捗状況評価 (計画どおり&lt;計画以上進捗を含む&gt;・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない) <input type="text"/></p> <p>理由・</p> <p>成果に対する評価 (大・ 中・ 小又はなし) <input type="text"/></p> <p>理由・</p> <p>効率性・経済性に対する評価 (高・ 中・ 低) <input type="text"/></p> <p>理由・</p> <p>総合評価 緊急雇用対策事業で確保している教育活動補助員については、将来的にはボランティアの活用など財政負担の抑制の視点から検討することが望ましい。また、地域子どもクラブの検討についても早急に取り組む必要があると思われる。</p>		

事業	806	事業名	生涯学習計画の見直し・推進	重点管理
----	-----	-----	---------------	------

(事業コード)	805106	(部課コード)	805
評価対象事業名	生涯学習計画の見直し・推進	部課係名	教育委員会 生涯学習課
基本計画の掲載	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	209ページ掲載	記入者名 内田 邦夫 内3311
計画体系	第7部第1・1-(1)-	7110111	歳出科目 一般会計 款:10.教育費 項:5.社会教育費 目:1.社会教育総務費 事項:4.生涯学習推進関係費
計画事業名	生涯学習計画の見直し・推進	(款・項・目・事項)	
計画体系	第7部第1・4-(1)-	7110411	補助区分 <input type="checkbox"/> 国補助 <input type="checkbox"/> 都補助 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独
計画事業名	各種講座の総合的整備	関連計画	なし
計画体系	第 部第 -(-)-	関係法規	
計画事業名	<p>事業の目的&lt; 対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)&gt;</p> <p>(対象) 生涯にわたる学習活動をみずから行う市民</p> <p>(意図) 市民がいつでも、どこでも、だれでも、そしていつまでも学習・文化・スポーツ活動に親しみ学ぶことができる生涯学習の推進を目指し、学習者の増大を図る。</p>		
事業の概要・期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年(始期: 13年度 ~ 終期:14年度) 新基本構想・第3次基本計画の策定を受け、生涯学習計画の見直し、推進を図る。		
	当該事務に従事する実質職員数		0.5人
今年度の事業・業務量の説明	生涯学習推進会議(庁内会議)を設置し、計画の策定を目指す。		
今年度のまちづくり指標の説明	行政委員(社会教育委員、スポーツ審議会委員)や市民会議(生涯学習会議)から意見聴取を図りながら、計画を策定していくことを市と市民との協働指標とする。		
	今後、市民満足度を評価するため別途調査を行う必要があるまちづくり指標		
他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値			



事業	806	事業名	生涯学習計画の見直し・推進	重点管理
----	-----	-----	---------------	------

(事業コード)	805106			(部課コード)	805
評価対象事業名	生涯学習計画の見直し・推進			部課係名	教育委員会 生涯学習課 (局・室)
年度別明細	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成	
事業・業務量		・骨格案の策定	・庁内会議による計画の策定 ・市民意向調査の実施 ・市民から意見を聴く会の実施	・検討案作成 ・市民意向調査の実施 ・行政委員や市民委員の意見反映	
まちづくり指標 行政指標 協働指標			多数の市民参加による計画の策定	市民意向調査による市民ニーズの把握。市民委員の意見反映。	
予算額(千円)			1,800	1,800	
決算額(千円)				1,722	
執行率(%)				95.7%	

年間の実施スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
当初計画			庁内会議による施策の体系、計画(素案)の作成・検討							▶	計画の確定		
			行政委員(社会教育委員等)や市民会議からの意見聴取		市民意向調査の実施		市民から意見を聴く会			▶			
結果			庁内会議による施策の体系、計画(検討案)の作成・検討								▶	検討案の作成	
			行政委員(社会教育委員等)や市民会議からの意見聴取 市民意向調査の実施									▶	

変更計画の説明

行政委員や市民会議からの意見聴取や職員参加に時間をかけたため。

主管課事後評価

進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない)                       
理由・行政委員や市民会議からの意見聴取、庁内検討及び関係各部課との調整に時間をかけたため、平成14年中の確定はできなかった。また、市長が代わるため、3月に確定せず、来年度に新市長の下で計画を確定する予定となった。  
成果に対する評価 (大・ 中・ 小又はなし)                       
理由・行政委員や市民会議からの意見聴取を詳細に実施した。また、庁内会議に専門チームを設置して職員参加を進めた。そして第3次三鷹市基本計画の理念を具体的に発展させた検討案を作成した。しかし、市民からの意見聴取の機会は作れなかった。  
効率性・経済性に対する評価 (高・ 中・ 低)                       
理由・計画の策定作業のため、市民意向調査以外の支出はない。行政委員等は、定例会の中で検討したので、計画のための支出はない。

総合評価

計画の確定予定が検討案の作成までであったが、新市長の下で確定するための必要な作業は終了した。

事業事前審査会事後評価

進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない)                       
理由・  
成果に対する評価 (大・ 中・ 小又はなし)                       
理由・  
効率性・経済性に対する評価 (高・ 中・ 低)                       
理由・ 当初計画より作業が遅れているが、新市長の下で検討するために必要な作業は終了している。また、計画の策定作業であるため、市民意向調査以外の支出はない。  
総合評価 検討案は策定されているが、協働指標でもある市民からの意見聴取について、早急に取り組む必要があると思われる。

事業	807	事業名	「エコミュージアムモデル事業」の実施	重点管理
----	-----	-----	--------------------	------

(事業コード)	805107		(部課コード)	805
評価対象事業名	「エコミュージアムモデル事業」の実施		部課係名	教育委員会 生涯学習課
基本計画の掲載	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	222ページ掲載	記入者名	矢野 勝巳 内3314
計画体系	第7部第3・4-(2)-	7300421	歳出科目	一般会計 款:10.教育費 項:5.社会教育費
計画事業名	「エコミュージアムモデル事業」の実施		(款・項・目・事項)	目:1.社会教育総務費 事項:6.武蔵野(野川流域)の水車経営農家関係費
計画体系	第 部第 -(-)-		補助区分	<input type="checkbox"/> 国補助 <input type="checkbox"/> 都補助 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独
計画事業名			関連計画	緑と水の基本計画、生涯学習計画
計画体系	第 部第 -(-)-		関係法規	東京都文化財保護条例、三鷹市文化財保護条例
計画事業名				

事業の目的< 対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)>

(対象)

武蔵野(野川流域)の水車経営農家(東京都指定有形民俗文化財)を市内外の一般市民を対象に周知させる。

(意図)

文化財の貴重な現地保存公開施設として整備を図るとともに、市民の参画により運営管理し、本市のエコミュージアムのモデル事業とする。

事業の概要・期間

単年度 複数年

(始期: 14年度 ~ 終期: 17年度)

東京都教育委員会の協力で平成13年度に設置した武蔵野(野川流域)の水車経営農家保存・活用検討委員会の提言を最大限尊重して施設整備等諸事業を実施するとともに、市民が主体となる運営管理を行っていく。

当該事務に従事する実質職員数

0.3人

今年度の事業・業務量の説明

公開日と公開場所の拡大を図るため、施設整備を行い、公開日に管理要員を派遣する。また、ボランティア養成講座(10回程度)の実施とビデオ映像記録を作成する。

今年度のまちづくり指標の説明

来場者数は前年予約数810人に対し、11月からの公開日・公開場所の拡大に伴い、年間の来場者数を算出。

ボランティア解説員を20人養成

今後、市民満足度を評価するため別途調査を行う必要があるまちづくり指標

他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値

武蔵野台地で水車全体の機構が現地で残っているのは、当該水車だけである。近隣で移築した水車で公開している施設としては、群馬県大間々町の野口水車記念館がある。

年度別明細	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成
事業・業務量			施設整備工事・施設管理の充実・ボランティア養成講座・ビデオ映像記録等	施設整備工事・施設管理の充実・ボランティア養成講座・ビデオ映像記録等
まちづくり指標 行政指標 協働指標		810人。(年間予約数)	来場者数2,500人 ボランティア20人	来場者1,352人 市民解説員21人 (ボランティア)
予算額(千円)			5,432	5,432
決算額(千円)				4,875
執行率(%)				89.7%

年間の実施スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画	準備		準備	広報	広報			ボランティア養成講座				
			施設整備工事									
結果	準備		準備	広報	広報			ボランティア養成講座				
			施設整備工事									

変更計画の説明

事業	807	事業名	「エコミュージアムモデル事業」の実施	重点管理
----	-----	-----	--------------------	------

(事業コード)	805107	(部課コード)	805
評価対象事業名	「エコミュージアムモデル事業」の実施	部課係名	教育委員会 生涯学習課 (局・室)
事後評価	主管課事後評価		
	進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない)		
	理由・諸事業について、全て計画通り進行した。		
	成果に対する評価 (大・中・小又はなし)		
	理由・まちづくり指標として掲げた年間の来場者数は、達成することができなかったが、協働指標として、掲げたボランティア数は、当初目標を上回る人数を養成することができた。しかも、全国で初めての専門的な水車ボランティア養成講座により、専門性の高い市民解説員(水車ボランティア)を養成することができた。		
	効率性・経済性に対する評価 (高・中・低)		
	理由・東京都の街づくりチャレンジ交付金を受けることができ、事業費全体の約40%が充当された。また、市民解説員の活動には、交通費相当額のみ支出である。		
	総合評価		
	進捗状況は計画通りであり、効率性・経済性も高いが、施設の市民の認知度を高める広報活動の充実を図る必要がある。		
	事業事前審査会事後評価		
進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない)			
理由・			
成果に対する評価 (大・中・小又はなし)			
理由・			
効率性・経済性に対する評価 (高・中・低)			
理由・			
総合評価	貴重な文化財である水車を後世に継承していくための基本的な施設整備等は必要であるが、その成果と費用効果について十分に検討を行いながら事業を推進することが望ましい。		

事業	808	事業名	南浦学童保育所整備事業	重点管理
----	-----	-----	-------------	------

(事業コード)	805108	(部課コード)	805
評価対象事業名	南浦小学童保育所整備事業	部課係名	教育委員会 生涯学習課
基本計画の掲載	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	195ℎ-ジ掲載	記入者名 内田 邦夫 内3311
計画体系	第6部第2・6-(1)-	6200614	歳出科目 一般会計 款:3.民生費 項:2.児童福祉費
計画事業名	学童保育所定員等の適正な設定	(款・項・目・事項)	目:1.児童福祉総務費 事項:15.南浦小学童保育所整備事業費
計画体系	第6部第4・5-(1)-	6400511	補助区分 <input type="checkbox"/> 国補助 <input checked="" type="checkbox"/> 都補助 <input type="checkbox"/> 市単独
計画事業名	学童保育所の充実	関連計画	
計画体系	第 部 第 ・ -( )-	関係法規	三鷹市学童保育所条例、同施行規則
計画事業名			
事業の目的< 対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)>			
(対象) 南浦小学童保育所に入所及び入所を希望している児童及び児童の保護者			
(意図) 学校の敷地内に建設し校庭を利用するなど児童の遊ぶ環境を整備する。併せて60名定員を100名程度の定員に増員し待機児の解消を図る。			
事業の概要・期間 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年(始期: 14年度 ~ 終期: 14年度)			
学童保育所の整備事業で、今年度は南浦小学童保育所の整備を行う。来年度以降は毎年1か所づつ整備を行っていく。現在学校と離れた児童遊園内(東京都所有地)にある学童保育所を学校の敷地内にあるつばさ農園に建設する。つばさ農園は別の場所に移設する。建物は鉄筋コンクリート造り2階建ての予定。10月より工事に着工し平成15年2月末日に竣工予定である。なお、竣工後現在の建物(プレハブ)を解体撤去する。			
当該事務に従事する実質職員数 0.5人			
今年度の事業・業務量の説明 学童保育所の整備完了。旧学童保育所の解体・撤去完了。			
今年度のまちづくり指標の説明 現在の60名定員を100名程度の定員に増員する。定員を増員することにより、毎年出ている待機児(2~5名)の解消を図る。南浦小学校・南浦小学童父母会・社会福祉協議会などからの意見聴取 今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標			
他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値			

事業	808	事業名	南浦学童保育所整備事業	重点管理
----	-----	-----	-------------	------

(事業コード)	805108			(部課コード)	805
評価対象事業名	南浦小学童保育所整備事業		部課係名	教育委員会 生涯学習課	
年度別明細	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成	
事業・業務量			学童保育所の整備 旧学童保育所の解体 撤去	学童保育所の整備 旧学童保育所の解体 撤去	
まちづくり 指標 行政指標 協働指標			待機児の解消、定員 の増 学校、学童父母会、 社会福祉協議会など からの意見聴取	待機児の解消、定員 の増 学校、学童父母会、 社会福祉協議会など からの意見聴取	
予算額(千円)			68,734	68,734	
決算額(千円)				28,302	
執行率(%)				41.2	

年間の実施スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画			←基本設計→	←実施設計→	←工事着工→						←竣工→	←各種完了 検査 解体・撤去→
結果			←基本設計・実施設計→					←工事着工→				←解体・ 撤去→

変更計画の説明

トルエン濃度が厚生労働省の基準値を3月末日にクリア出来ず、引渡しは4月となった。

主管課事後評価

進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない)   
理由・環境測定においてトルエンの濃度が基準値をクリアできず、年度内の引き渡しを受けることができなかったため、15年度当初の開設が不可能となった。事故繰越を行った。  
成果に対する評価 (大・ 中・ 小又はなし)   
理由・入所定員の拡大を図ったため平成15年度の待機児童はなかった。また定員を拡大したことにより余裕があるため三小学童及び七小学童の待機児童を受け入れている。  
効率性・経済性に対する評価 (高・ 中・ 低)   
理由・定員増に対する指導員を従来社会福祉協議会の正職員を配置していたが、今回嘱託職員とし経費の削減を図った。

事後評価

総合評価  
定員増を図ったので平成15年度の待機児童はなかった。三小、七小学童の待機児童を受け入れることができた。また新たな取り組みとして屋上緑化を行った。

事業事前審査会事後評価

進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない)   
理由・  
成果に対する評価 (大・ 中・ 小又はなし)   
理由・ 当該整備事業による15年度当初の開設は出来なかった。南浦小の待機児の解消が図られたものの、三小、七小の待機児も受け入れている。  
効率性・経済性に対する評価 (高・ 中・ 低)   
理由・ 待機児の解消は図られたが、開設の遅れに伴い、庁内外に影響があった。

総合評価

当該保育所の整備により待機児童の解消が図られたが、「地域こどもクラブ(仮称)」の検討のなかで学童保育所あり方について抜本的な検討を行っていることを踏まえ、本施設の有効活用をさらに検討することが望ましい。

事業	809	事業名	大沢第二グラウンドの整備	重点管理
----	-----	-----	--------------	------

(事業コード)	806109	(部課コード)	806
評価対象事業名	大沢第二グラウンドの整備	部課係名	教育委員会 スポーツ振興課 (局・室)
基本計画の掲載	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 218ページ掲載	記入者名	小樽 内3327
計画体系	第7部第2・4-(2)- 7200421	歳出科目	一般会計 款:教育費 項:保健体育費
計画事業名	大沢第二グラウンドの整備	(款・項・目・事項)	目:体育施設整備費 事項:大沢第二グラウンド整備事業費
計画体系	第 部 第 - (-)-	補助区分	<input type="checkbox"/> 国補助 <input type="checkbox"/> 都補助 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独
計画事業名		関連計画	
計画体系	第 部 第 - (-)-	関係法規	
計画事業名			

事業の目的< 対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)>  
 (対象)  
 三鷹市民  
 (意図)  
 野川大沢調節池の底地を有効活用し、三鷹市の屋外スポーツ施設(大沢第二グラウンド)を再整備することにより、市民スポーツの充実を図る。

事業の概要・期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度 (始期: ~ 終期: )
施設内容	1野球場1面 2サッカー・ラグビー場1面 3テニスコート4面 4管理棟 5駐車場・駐輪場の整備
当該事務に従事する実質職員数	0.3人

今年度の事業・業務量の説明  
 大沢第二グラウンド整備工事 整備面積 34,594平方メートル

今年度のまちづくり指標の説明  
 整備工事を年度内に完了する。進捗度100%  
 今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標

他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値

年度別明細	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成
事業・業務量		東京都との調整を行ったうえ、整備に係わる設計の実施。	大沢第二グラウンド整備工事の実施 整備面積34.594平方メートル	整備工事完了
まちづくり指標 行政指標 協働指標		設計完了	整備工事を年度内に完了する。 進捗度 100%	平成15年3月14日 整備工事完了
予算額(千円)		9,380	235,000	235,000
決算額(千円)		8,925		215,743
執行率(%)		95.15%		91.80%

年間の実施スケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画	道路整備課へ監督依頼												
	入札・仮契約												
結果	道路整備課へ監督依頼												
	入札・仮契約												
	議会の可決・成立後契約												
	整備工事開始												整備工事完了
													整備工事完了

変更計画の説明

事業	809	事業名	大沢第二グラウンドの整備	重点管理
----	-----	-----	--------------	------

(事業コード)	806109	(部課コード)	806
評価対象事業名	大沢第二グラウンドの整備	部課係名	教育委員会 スポーツ振興課 (局・室)
事後評価	主管課事後評価		
	進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない)		
	理由・整備工事中、冠水等の影響があったがほぼ計画どおり		
	成果に対する評価 (大・中・小又はなし)		
	理由・途中多少の遅れはあったが平成15年3月14日整備工事完了		
	効率性・経済性に対する評価 (高・中・低)		
理由・冠水による途中での整備工事の遅れは、整備工事業者の努力によりその後効率よく進んだ。当初予算に含まれていなかった、スポーツ振興くじ助成金が交付決定されたことによる市財源の軽減。			
総合評価	計画どおり整備は終了し、大沢野川グラウンドに名称を改め平成15年4月1日にオープンした。		
事前事後評価	事業事前審査会事後評価		
	進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない)		
	理由・		
	成果に対する評価 (大・中・小又はなし)		
	理由・		
	効率性・経済性に対する評価 (高・中・低)		
理由・			
総合評価	特定財源(スポーツ振興くじ助成金)の確保により、一般財源の軽減が図られた効果は大きい。		

事業	810	事業名	総合スポーツセンター(仮称)建設の建設・運営における民間活力の導入	重点管理
----	-----	-----	-----------------------------------	------

(事業コード)	807110	(部課コード)	807
評価対象事業名	総合スポーツセンター(仮称)建設の建設・運営における民間活力の導入	部課係名	教育委員会総合スポーツセンター建設準備室
基本計画の掲載	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 218ページ掲載	記入者名	川田 内3323
計画体系	第7部第2・4-(1)- 7200411	歳出科目	一般会計 款:教育費 項:保健体育費
計画事業名	総合スポーツセンター(仮称)の建設仕様等の見直し	(款・項・目・事項)	目:体育施設整備準備関係費
計画体系	第7部第2・4-(1)- 7200412	補助区分	<input type="checkbox"/> 国補助 <input type="checkbox"/> 都補助 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独
計画事業名	総合スポーツセンター(仮称)の建設の建設・運営における民間活力の導入	関連計画	行財政改革実施方策
計画体系	第 部第 . -( )-	関係法規	
計画事業名			
事業の目的< 対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)>			
(対象) 三鷹市民			
(意図) 総合スポーツセンター(仮称)は、幼児から高齢者、障害者まで多様な市民が、生涯にわたって生き生きとした健康で充実した生活を送るために、スポーツ・レクリエーション活動や健康体力づくりの機会や場を提供する総合的な健康づくりの推進拠点施設となるとともに、クラブ団体のクラブハウスやクラブづくりの拠点として、広範な地域の市民の交流や情報交換が図られる場所として、コミュニティ効果も期待される。			
事業の概要・期間 <input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度 (始期: 平成6 ~ 終期: 19年度)			
総合スポーツセンター(仮称)は、「三鷹市第3次基本計画」で計画中期にオープンする計画で、総事業費55億円を基礎に施設の見直しの検討を行なうが、民間資金などを活用し公共施設を整備する手法であるPFIによる事業化の検討についても行なうものとする。 当該事務に従事する実質職員数 0.2人			
今年度の事業・業務量の説明 PFIによる事業化などを検討するため、財団法人地域総合整備財団にPFIアドバイザーの派遣を依頼する。アドバイザーからPFIに関する基礎的な知識を修得し、PFIの検討を進めていく上での基本的な手順などについて助言をいただく。助言を基に、PFIによる事業化を検討するための基礎的調査を実施する。また総合スポーツセンター(仮称)の建設仕様などの見直しについても併せて検討を行なう。			
今年度のまちづくり指標の説明 PFIの基礎的調査により、総合スポーツセンター(仮称)の整備運営事業のPFI事業導入の可能性について、従来の手法との比較や事業形態・事業方式などの調査研究を行ない、総合スポーツセンター(仮称)の整備手法の方向性を検討する。 今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標			
他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値			

事業	810	事業名	総合スポーツセンター（仮称）建設の建設・運営における民間活 力の導入	重点管理
----	-----	-----	---------------------------------------	------

(事業コード)	807110			(部課コード)	807
評価対象事業名	総合スポーツセンター（仮称）建設の建設・運営にお ける民間活力の導入			部課係名	教育委員会総合スポーツセンター建設準備室
年度別明細	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成	
事業・ 業務量	総合スポーツセン ター（仮称）の運 営形態についての 検討・研究	・設計見直しプラ ンの作成 ・建設運営方法の 検討	・財団法人地域総合 整備財団が実施する P F Iアドバイザー 派遣事業に参加 ・ P F Iによる建 設・運営手法の基礎 的調査実施	・財団法人地域総合 整備財団が実施する P F Iアドバイザー 派遣事業に参加 ・ P F I等事業手法の 調査・検討	
まちづくり 指標 行政指標 協働指標	着工延期	三鷹市第3次基本 計画のなかで検討 することになっ た。	総合スポーツセン ター（仮称）の整備 手法及び建設仕様な どの見直しの検討	総合スポーツセン ター（仮称）の整備 手法及び建設仕様な どの見直しの検討	
予算額(千円)	702	1,791	3,686	3,760	
決算額(千円)	277	256		312	
執行率(%)	39.5%	14.3%		8.3%	

年間の実施スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画				P F Iアドバイザー説 明会に参加		総合スポーツセンター（仮称）の P F I による事業手法の基礎的調査の実施				中間のまとめ		
結果				P F I アドバイ ザー説明会に参加								総合スポーツセンター（仮称）の P F I 等の事業手法を庁内職 員チームによる研究調査

変更計画の説明

P F I 事業等の基礎調査は外部委託せず、庁内職員チームにより調査検討を行なう

事 後 評 価	主管課事後評価	
	進捗状況評価（計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない）	3
	理由 平成14年度のPFI等の基礎的調査の外部委託は行わず、庁内職員による調査・検討を進めることになった。 成果に対する評価（大・中・小又はなし）	3
	理由 今後も庁内職員によりPFI等の事業手法について継続して研究・検討していく。また建設規模・仕様等について見直しを検討する。 効率性・経済性に対する評価（高・中・低）	2
総合評価	総合スポーツセンター（仮称）の整備等については、財政資金の効率的活用、事業の効率性の追求を図る観点から、PFI等の民間活 力を活用した事業方式を検討する。	
総合評価	総合スポーツセンターは、市民のスポーツを中心とした総合的な健康づくりの拠点施設としての役割が期待されており、市民のス ポーツ需要、スポーツ環境変化にも対応できる施設の整備とそのあり方を検討していく必要がある。	
事 業 前 査 会 事 後 評 価	事業事前審査会事後評価	
	進捗状況評価（計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない）	
	理由 成果に対する評価（大・中・小又はなし）	
	理由 効率性・経済性に対する評価（高・中・低）	
総合評価	継続して整備手法や建設仕様等について調査・研究を進め、現在の社会・経済情勢を踏まえた施設整備方針 を確立することが必要と思われる。	

事業	811	事業名	川上郷自然の村の利用者拡大と効率的運用	部内管理
----	-----	-----	---------------------	------

(事業コード)	801211		(部課コード)	801								
評価対象事業名	川上郷自然の村の利用者拡大と効率的運営		部課係名	教育委員会 総務課(局・室)								
基本計画の掲載	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 205ページ掲載		記入者名	天野 内3213								
計画体系	第6部第4・6-(1)-	6400611	歳出科目	一般会計 款:教育費 項:教育総務費								
計画事業名	川上郷自然の村の活用拡充と運営方法の検討		(款・項・目・事項) 目:	事項:								
計画体系	第 部 第 . -( )-		補助区分	<input type="checkbox"/> 国補助 <input type="checkbox"/> 都補助 <input type="checkbox"/> 市単独								
計画事業名			関連計画									
計画体系	第 部 第 . -( )-		関係法規	三鷹市川上郷自然の村条例、同施行規則								
計画事業名												
事業の目的< 対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)> (対象) 三鷹市及び近隣市の学校・団体及び市民 川上郷自然の村の運営主体 (意図) 自然教室のあり方を検討するとともに、一般の利用者の拡大を図りながら、抜本的な運営方法の見直しを行い、経費の節減を図り、効率的な運営を目指す方策を検討する。												
事業の概要・期間 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年(始期: 14年度 ~ 終期: 14年度) 市長部局関連課等を含めた川上郷自然の村あり方検討委員会を設置(6月)し、9月頃に中間報告、年度内に最終報告書を提出する。												
				当該事務に従事する実質職員数	0.4人							
今年度の事業・業務量の説明 検討委員会設置後、月1~2回程度のペースで会議を開催していく。												
今年度のまちづくり指標の説明 検討委員会の検討結果である最終報告書に基づき、今後の川上郷自然の村の効率的運営を進めていく。 なお、平成15年度予算については、中間報告書に基づいて作成していく。 今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標												
他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値 杉並区における、利用者サービス向上・効率的運営を目的とした、区民保養施設の民間貸付の実施。												
年度別明細	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成								
事業・業務量		他市へのアンケート調査を実施(参考)	6月に検討委員会を設置。以後月2回程度会議を開催。9月中間報告、年度内最終報告書提出	7月に検討委員会を設置し会議を3回開催。11月に中間報告書提出。								
まちづくり指標 行政指標 協働指標			最終報告書作成	中間報告書作成								
予算額(千円)				0	0							
決算額(千円)					0							
執行率(%)												
年間の実施スケジュール												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画			検討委員会設置			中間報告書提出						最終報告書提出
結果			検討委員会設置	会議2回開催		会議1回開催	意見集約	中間報告書提出				
変更計画の説明												



事業	811	事業名	川上郷自然の村の利用者拡大と効率的運用	部内管理
----	-----	-----	---------------------	------

(事業コード)	801211	(部課コード)	801
評価対象事業名	川上郷自然の村の利用者拡大と効率的運営	部課係名	教育委員会 総務課(局・室)
事後評価	<b>主管課事後評価</b> 進捗状況評価(計画どおり<計画以上進捗を含む>、ほぼ計画どおり、計画どおり進んでいない) <input type="checkbox"/>		
	理由・骨格予算の編成により、中間報告に基づいた一定の改善策の予算化が保留となった。 今後は新市長の下、補正予算編成等を通して、早急に対応すべき改善策と改善の基本的方向性を定めていく。		
	成果に対する評価(大・中・小又はなし) <input type="checkbox"/>		
	理由・中間報告書には、多方面からの検討により、多くの改善策が提示されている。今後は、経費及び効果等の側面から、早急に対応すべき改善策と改善の基本的方向性を定めていく。 効率性・経済性に対する評価(高・中・低) <input type="checkbox"/>		
事前評価	<b>事業事前審査会事後評価</b> 進捗状況評価(計画どおり<計画以上進捗を含む>、ほぼ計画どおり、計画どおり進んでいない) <input type="checkbox"/>		
	理由・		
	成果に対する評価(大・中・小又はなし) <input type="checkbox"/>		
	理由・ 効率性・経済性に対する評価(高・中・低) <input type="checkbox"/>		
総合評価	最終報告書の作成を進めるとともに、中間報告書に盛り込まれた具体的改善策の中から優先度・有効性から順次取り組みを進めることが必要と思われる。		

事業	812	事業名	小中学校耐震補強工事	部内管理
----	-----	-----	------------	------

(事業コード)	802212	(部課コード)	802
評価対象事業名	小中学校耐震補強工事	部課係名	教育委員会 施設課(局・室)
基本計画の掲載	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 206ページ掲載	記入者名	菅原 正 内3222
計画体系	第6部第4・2-(2)- 6400221	歳出科目	一般会計 款:10教育費 項:小中学校費
計画事業名	学校施設の整備	(款・項・目・事項)	目:4学校建設整備費 事項:1諸建設事業費
計画体系	第3部第4・3-(3)- 3400332	補助区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助 <input type="checkbox"/> 都補助 <input type="checkbox"/> 市単独
計画事業名	耐震補強工事の実施	関連計画	地震防災緊急事業五箇年計画
計画体系	第 部第 第 -(-)-	関係法規	地震防災対策特別措置法
計画事業名			
事業の目的<対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)>			
(対象) 第四中学校・第六小学校・第七小学校			
(意図) 耐震補強を実施することにより、学校の耐震性能を向上し生徒の安全及び地域の防災拠点を確保する。			
事業の概要・期間 <input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年(始期: 14年度 ~ 終期: 22年度)			
学校施設の耐震補強工事は今年から平成22年度までに3校実施する。 平成14年度第四中北校舎の耐震補強工事 平成15年度第四中南校舎と屋内運動場及び第六小のふじみ校舎と屋内運動場の耐震補強工事 平成16年度~18年度は、一小二小スーパーリニューアルの中で耐震補強予定 平成19年度から第六小・第七小の耐震補強工事 当該事務に従事する実質職員数 1.2人			
今年度の事業・業務量の説明 第四中学校北校舎の耐震補強工事及び耐震補強工事に伴う便所改修工事 工事件名:第四中学校耐震補強1期工事 請負者:大創・大竹建設共同企業体			
今年度のまちづくり指標の説明 第四中学校全体の耐震補強事業の内、第1期工事の実施			
今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標			
他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値 武蔵野市では、平成14年度~18年度までの5箇年で市立小・中学校の耐震補強工事を完了させる。 西東京市では、平成17年度までに耐震補強工事は完了する予定。(1年度2校実施)			

事業	812	事業名	小中学校耐震補強工事	部内管理
----	-----	-----	------------	------

(事業コード)	802212(部課コード)			802
評価対象事業名	小中学校耐震補強工事		部課係名	教育委員会 施設課 (局・室)
年度別明細	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成
事業・業務量	実施設計		第四中学校耐震補強1期工事	第四中学校耐震補強1期工事
まちづくり指標 行政指標 協働指標			第四中耐震補強の進捗率 60%	第四中耐震補強の進捗率 60%
予算額(千円)	9,587		149,100	149,100
決算額(千円)	9,240	0		135,975
執行率(%)	96.4%	0		91.2%

年間の実施スケジュール												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画		● 着手5/14										
			三総管契第297号		請負金額135,975,000							
								● 工期11/20				
										大創・大竹建設共同企業体		
結果		● 着手5/14										
			三総管契第297号		請負金額135,975,000							
								● 工期11/20				
										大創・大竹建設共同企業体		

変更計画の説明

事業 後 評 価	主管課事後評価	
	進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない)	1
	理由・第四中学校耐震補強1期工事は、学校の協力もあって予定通り完了した。	
	成果に対する評価 (大・中・小又はなし)	1
	理由・補強工事により、北校舎の耐震性能は強化され、かつ一部の教室等の内装は改善された。	
	効率性・経済性に対する評価 (高・中・低)	2
理由・補強工事は専門性があり、夏休みの工事という条件もあるので、発注時期から制約がある。 しかし、国の地震防災対策特別措置法による国庫補助金対象となるので経済性は良い。 総合評価・一時避難所に指定されている学校施設を、より有効に機能させるためにも、また、児童生徒等の安全を確保するためにも補強工事は必要であるので、今後も実施する必要がある。		
事業事前審査会事後評価		
進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない)	[ ]	
理由・		
成果に対する評価 (大・中・小又はなし)	[ ]	
理由・		
効率性・経済性に対する評価 (高・中・低)	[ ]	
理由・		
総合評価	今後も特定財源の確保を図りながら計画的に整備を進めていくことが望ましい。	

事業	813	事業名	小・中学校便所改修工事	部内管理
----	-----	-----	-------------	------

(事業コード)	802213	(部課コード)	802
評価対象事業名	小・中学校便所改修工事	部課係名	教育委員会 施設課 (局・室)
基本計画の掲載	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 206ページ掲載	記入者名	菅原 正 内3222
計画体系	第6部第4・2-(2)- 6400221	歳出科目	一般会計 款:10教育費 項:小中学校費
計画事業名	学校施設の整備	(款・項・目・事項)	目:1学校管理費 事項:4施設改修事業費
計画体系	第 部第 ・ -( )-	補助区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助 <input type="checkbox"/> 都補助 <input type="checkbox"/> 市単独
計画事業名		関連計画	
計画体系	第 部第 ・ -( )-	関係法規	
計画事業名			

事業の目的< 対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)>

(対象)

学校施設の整備として、便所改修を重点的に行う。  
平成14年度は、第六小学校及び南浦小学校の便所改修とする。

(意図)

便所改修を実施することにより、学校の便所を洋式便器や手すりを設けるなど全面更新をして、  
児童に良好な教育環境を確保する。

事業の概要・期間

単年度 複数年度 (始期: 14年度 ~ 終期: 18年度)  
平成14年度 第六小 中央校舎の便所8箇所及び特殊学級校舎の便所2箇所の改修工事  
平成14年度 南浦小 校舎東側便所7箇所の改修工事  
平成15年度 第四小・北野小便所改修工事  
平成16年度 第六中学校便所改修工事 当該事務に従事する実質職員数 0.4人

今年度の事業・業務量の説明

設計・トイレアンケート・改修工事

今年度のまちづくり指標の説明

第六小及び南浦小の便所改修工事の実施

今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標

他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値

年度別明細	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成
事業・業務量		井口小便所改修	第六小・南浦小の設計・トイレアンケート・改修工事	第六小・南浦小の設計・トイレアンケート・改修工事
まちづくり指標			進捗度100%	進捗度100%
行政指標				アンケート実施
協働指標				
予算額(千円)		27,034	60,031	60,031
決算額(千円)		25,410		51,030
執行率(%)		94%		85.0%

年間の実施スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画	●	●	●	●								
結果	●	●	●	●	●	●	●					

トイリアンケート

設計

便所改修工事

トイリアンケート

設計

設計

第六小は工期7月3日～9月30日

南浦小は工期7月17日～9月11日

変更計画の説明

事業	813	事業名	小・中学校便所改修工事	部内管理
----	-----	-----	-------------	------

(事業コード)	802213	(部課コード)	802
評価対象事業名	小・中学校便所改修工事	部課係名	教育委員会 施設課 (局・室)
事後評価	主管課事後評価 進捗状況評価 ( 計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない) 理由・便所改修工事は、学校の協力もあって予定通り完了した。	1	
	成果に対する評価 ( 大・ 中・ 小又はなし) 理由・便所改修により、明るくきれいな便所にできた。	1	
	効率性・経済性に対する評価 ( 高・ 中・ 低) 理由・便所改修工事は、複数の業種が集中する工事となるため、比較的工期を必要とする。 しかし、国庫補助金対象となるので経済性は良い。 総合評価・明るくきれいな便所ができたことにより、児童・生徒の学校に対する期待にそえるようになった。	1	
	事業事前審査会事後評価 進捗状況評価 ( 計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない) 理由・		
	成果に対する評価 ( 大・ 中・ 小又はなし) 理由・		
	効率性・経済性に対する評価 ( 高・ 中・ 低) 理由・		
総合評価	児童・生徒に改修後のアンケート調査を実施し、今後、同様の工事を行う際に活用を図ることが望ましい。		

事業	814	事業名	学校図書館の全小中学校への整備	部内管理
----	-----	-----	-----------------	------

(事業コード)	802214	(部課コード)	802
評価対象事業名	学校図書館の全小中学校への整備	部課係名	教育委員会 施設課 (局・室)
基本計画の掲載	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 206ページ掲載	記入者名	菅原 正 内3222
計画体系	第6部第4・3-(7)- 6400371	歳出科目	一般会計 款:10教育費 項:小中学校費
計画事業名	学校図書館の全小中学校への配置	(款・項・目・事項)	目:1学校管理費 事項:7学校図書館整備関係費
計画体系	第 部第 ・ -( )-	補助区分	<input type="checkbox"/> 国補助 <input checked="" type="checkbox"/> 都補助 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独
計画事業名		関連計画	
計画体系	第 部第 ・ -( )-	関係法規	
計画事業名			
事業の目的< 対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)> (対象) 第二小学校、第六小学校、第七小学校、第五中学校、第七中学校 (意図) 学校図書館を整備することにより、児童・生徒の調べ学習や読書学習に供するとともに、学校図書館相互のネットワークづくりや地域開放がいき、地域の社会資産として貢献できる。			
事業の概要・期間 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度 (始期: 14年度 ~ 終期: 14年度) 本年度5校の事業実施により、学校図書館整備は完了する。 当該事務に従事する実質職員数 0.8人			
今年度の事業・業務量の説明 学校打合せ、設計委託、整備工事、備品整備、司書配置、学校図書館オープン			
今年度のまちづくり指標の説明 計画期間内に全ての小中学校に学校図書館を整備する。			
今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標 他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値			

事業	814	事業名	学校図書館の全小中学校への整備	部内管理
----	-----	-----	-----------------	------

(事業コード)	802214(部課コード)			802
評価対象事業名	学校図書館の全小中学校への整備		部課係名	教育委員会 施設課 (局・室)
年度別明細	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成
事業・業務量	学校図書館整備 三小、東台小、 二中、六中	学校図書館整備 大沢台小、南浦 小、井口小(高 山小は建替)	学校打合せ 設計委託 整備工事 二小・六小・七小 五中・七中	学校打合せ 設計委託 整備工事 二小・六小・七小 五中・七中
まちづくり 指標 行政指標 協働指標	4校整備完了	4校整備完了 (高山小含む)	全校整備度 100%	全校整備度 100%
予算額(千円)	112,713	78,100	135,889	135,889
決算額(千円)	104,214	77,301		128,247
執行率(%)	92.5%	99.0%		94.4%

年間の実施スケジュール														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
当初計画	●	設計委託 着手4/12		●	完了7/10	●	学校図書館整備工事			●				
結果	●	設計委託 着手4/12		●	完了7/10	●	七小・五中・七中は工期8月10日～11月20日			●				
						●	二小・六小は工期8月10日～12月20日			●				

変更計画の説明 (中間評価時)  
二小は、図書館の場所にある資料室の移転が必要なためと、六小は天井スラブの梁補強工事が必要なため。

事後評価	主管課事後評価	
	進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない)	1
	理由・本事業により学校図書館が全校に整備された。	
	成果に対する評価 (大・中・小又はなし)	1
	理由・全校に学校図書館が整備されて、児童・生徒の利用に資することができた。	
	効率性・経済性に対する評価 (高・中・低)	1
理由・地域開放を行う学校図書館として、低層部の教室部分に整備することとなるため、児童・生徒の増加による教室の増に対応することが困難になる学校が出始めている。		
総合評価・地域開放やインターネットができるエアコン完備の学校図書館として、児童・生徒に好評である。		
事業事前審査会事後評価	進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない)	
	理由・	
	成果に対する評価 (大・中・小又はなし)	
	理由・	
効率性・経済性に対する評価 (高・中・低)		
理由・		
総合評価	今後は学校図書館の地域開放により、さらに市民利用を促進する手法の検討を進めることが望ましい。	

事業	815	事業名	学校運営連絡会の充実	部内管理
----	-----	-----	------------	------

(事業コード)	804215		(部課コード)	804	
評価対象事業名	学校運営連絡会の充実		部課係名	教育委員会 指導室(局・室)	
基本計画の掲載	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	202ページ掲載	記入者名	岡崎 安隆 内3243	
計画体系	第6部第3・9-(2)-	6300921	歳出科目	一般会計 款:10教育費 項:1教育総務費	
計画事業名	学校運営連絡会の充実		(款・項・目・事項)	目:2事務局費 事項:8学校運営連絡会関係費	
計画体系	第部第・-(-)-		補助区分	<input type="checkbox"/> 国補助 <input type="checkbox"/> 都補助 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独	
計画事業名			関連計画		
計画体系	第部第・-(-)-		関係法規	三鷹市公立学校学校運営連絡会設置要綱	
計画事業名					

事業の目的< 対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)>

(対象)

保護者及び地域住民

(意図)

学校運営や教育内容に関して保護者や地域住民の意向を取り入れるとともに、学校自らが学校に関する情報を積極的に発信することにより、一層開かれた学校づくりを推進する。

事業の概要・期間

単年度

複数年

(始期:

12年度

~ 終期:

22年度)

平成12、13年度の2年間の試行を通して、一定の成果を挙げることができたが、中学校単位の設置よりも各学校独自に設置する方が、より一層、地域、保護者との密接な連携や具体的な意見交換が可能である。この趣旨を実現する上でも、より大きな成果を期待できるので、平成14年度より各学校単位で実施する。

当該事務に従事する実質職員数

0.1人

今年度の事業・業務量の説明

各学校ごとに運営連絡会を年3回程度(学期ごと)に開催して、外部評価を取り入れた学校運営を目指す。

今年度のまちづくり指標の説明

保護者や地域住民から意見を聞くことにより、開かれた学校づくりを一層推進し、学校が家庭や地域と連携協力しながら、特色ある教育活動を目指す。

今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標

他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値

年度別明細	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成
事業・業務量	7中学校区に学校運営連絡会を設置した。	14年度本格実施に向けて、実施方法等を検討した。	学校ごとに連絡会を設置して、外部評価を取り入れた学校運営を目指す。	学校ごとに連絡会を設置して、外部評価を取り入れて、学校運営に役立っている。
まちづくり指標 行政指標 協働指標			22校で延べ66回連絡会を開催する。	22校で延べ65回連絡会を開催するとともに評価委員会も必要に応じ開催した。
予算額(千円)	245	175	40	40
決算額(千円)	15	34		8
執行率(%)	6	19.4		20%

年間の実施スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画		要綱改正 各校設置										
結果		要綱改正 各校設置										

変更計画の説明

事業	815	事業名	学校運営連絡会の充実	部内管理
----	-----	-----	------------	------

(事業コード)	804215	(部課コード)	804
評価対象事業名	学校運営連絡会の充実	部課係名	教育委員会 指導室 (局・室)
事後評価	主管課事後評価		
	進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない)		1
	理由・学校ごとに運営連絡会を設置し、外部評価を取り入れた学校運営も順調に進められている。		
	成果に対する評価 (大・中・小又はなし)		1
	理由・保護者や地域住民から意見を聞くことにより、開かれた学校づくりを一層推進し学校が家庭や地域と連携協力しながら、学校運営に役立っている。		
	効率性・経済性に対する評価 (高・中・低)		2
	理由・外部評価を取り入れた学校運営連絡会の本格実施に向けて、保護者や地域住民の意向をどのような形で学校運営や教育内容に反映していくかが課題である。		
	総合評価	学校ごとに運営連絡会を設置し、外部評価を取り入れて学校運営の改善に役立っている。	
	事業事前審査事後評価		
	進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない)		
理由・			
成果に対する評価 (大・中・小又はなし)			
理由・			
効率性・経済性に対する評価 (高・中・低)			
理由・			
総合評価	今後は、外部評価で明確となった課題の改善に向けて、プロセスの構築を検討していくことが望ましい。		

事業	816	事業名	小学校における英語教育外国人指導事業の拡充	部内管理
----	-----	-----	-----------------------	------

(事業コード)	804216	(部課コード)	804
評価対象事業名	小学校における英語教育外国人指導事業の拡充	部課係名	教育委員会 指導室 (局・室)
基本計画の掲載	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 198ページ掲載	記入者名	吉原 内3247
計画体系	第6部第3・5-(1)- 6300515	歳出科目	一般会計 款:10教育費 項:1教育総務費
計画事業名	国際理解教育の充実	(款・項・目・事項)	目:3教育指導費事項:1指導関係費
計画体系	第部第・-( )-	補助区分	<input type="checkbox"/> 国補助 <input type="checkbox"/> 都補助 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独
計画事業名		関連計画	
計画体系	第部第・-( )-	関係法規	
計画事業名			
事業の目的<対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)> (対象) 三鷹市立公立小学校15校 (意図) 国際理解教育の一環としての英語活動の充実を図ることにより、豊かな国際感覚を持つ児童の育成を図る。			
事業の概要・期間 <input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度 (始期: 14年度 ~ 終期: ) 市内全15小学校の5・6年生を対象として、総合的な学習の時間における英語活動をサポートする地域の外国人や留学生等を講師として派遣する。 当該事務に従事する実質職員数 0.5人			
今年度の事業・業務量の説明 市内全小学校の5・6年生の全クラスを対象とし、年間で各15時間程度の外国人講師等の派遣のための予算措置を行う。			
今年度のまちづくり指標の説明 5・6年生全70クラスでの英語活動を実施する。延べ1,050時間を予定 今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標			
他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値 府中市 5・6年生対象で業者委託 ノヴァ 1時間 3,600円			

事業	816	事業名	小学校における英語教育外国人指導事業の拡充	部内管理
----	-----	-----	-----------------------	------

(事業コード)	804216(部課コード)				804
評価対象事業名	小学校における英語教育外国人指導事業の拡充		部課係名	教育委員会	指導室 (局・室)
年度別明細	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成	
事業・業務量			小学校15校への外国人講師等の派遣を実施	小学校15校への外国人講師等の派遣を実施	
まちづくり指標 行政指標 協働指標			5・6年生に英語の授業を1,050時間実施する。 15時間×70クラス	5・6年生に英語の授業を70クラスで、1,019時間実施した。	
予算額(千円)	0	0	3,150	3,150	
決算額(千円)	0	0		3,057	
執行率(%)	0	0		97.0%	

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画	← 大学関係機関等への外国人、留学生等の派遣要請 総合的な学習の時間の指導計画に基づき、各小学校で英語活動を実施 →											
結果	← 大学関係機関等への外国人、留学生等の派遣要請 総合的な学習の時間の指導計画に基づき、各小学校で英語活動を実施 →											

変更計画の説明

事後評価	<b>主管課事後評価</b> 進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない) <span style="float: right;">1</span> 理由・全小学校5・6年生において、英語活動を実施することができた。
	成果に対する評価 (大・中・小又はなし) <span style="float: right;">1</span> 理由・教員を対象に5回の研修会を行い、英語活動に対する理解を深めることができ、また、学年を拡大して英語活動を行う学校が増えてきていることも成果の一つといえる。
	効率性・経済性に対する評価 (高・中・低) <span style="float: right;">1</span> 理由・各校で綿密な打ち合わせを行っているため、着実にその成果をあげることができた。
	総合評価 各校において外国人による生きた英会話コミュニケーション能力の育成、向上の取り組みが順調に進んでいる。
事業事前審査会事後評価	<b>事業事前審査会事後評価</b> 進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない) <span style="float: right;"></span> 理由・
	成果に対する評価 (大・中・小又はなし) <span style="float: right;"></span> 理由・
	効率性・経済性に対する評価 (高・中・低) <span style="float: right;"></span> 理由・
	総合評価 各部における優先順位を検討し、基準額の範囲内で事業調整を図り、英会話能力の向上に取り組んでいくことが望ましい。



事業	817	事業名	児童館中学高校生交流事業	部内管理
----	-----	-----	--------------	------

(事業コード)	808217	(部課コード)	808
評価対象事業名	児童館中学高校生交流事業	部課係名	教育委員会 社会教育会館
基本計画の掲載	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 196ページ掲載	記入者名	田中 慧 内3350
計画体系	第6部第2・6-(3)- 6200635	歳出科目	一般会計 款:3.民生費 項:2.児童福祉費 目:4.児童館費 事項9.東児童館中学高校生交流事業費 事項18.西児童館中学高校生交流事業費
計画事業名	児童館における中学生・高校生の自主活動への支援	(款・項・目・事項)	
計画体系	第 部第 - (-)-	補助区分	<input type="checkbox"/> 国補助 <input type="checkbox"/> 都補助 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独
計画事業名		関連計画	
計画体系	第 部第 - (-)-	関係法規	
計画事業名			

事業の目的< 対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)>  
(対象)  
中学・高校生世代  
(意図)  
さまざまな形態の事業を通じて、中高生の居場所づくりや世代交流などにより、青少年の健全育成を図る。

事業の概要・期間 単年度 複数年(始期: 14年度 ~ 終期: 22年度)  
東児童館では「バンド教室やミュージカルクラブ、パソコン教室」の開催、西児童館では「ダンスサークル及び企画段階からの参加によるナイトハイク」の開催により、児童館への関心を高め、併せて児童館の利用促進を図る。  
当該事務に従事する実質職員数 0.6人

今年度の事業・業務量の説明  
東児童館・バンド教室 - 7月22日～25日(4日間)、ミュージカルクラブ - 年12回、パソコン教室 - 3日間  
西児童館・ナイトハイク - (8月～11月)10月実施。ダンスサークル - 年間12日間(時間帯や曜日については、参加者と話し合って決定する。)

今年度のまちづくり指標の説明  
参加者の満足度は、企画、施設、館の対応等の充実度を示す指標とする。  
今後、市民満足度を評価するため別途調査を行う必要があるまちづくり指標

他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値

年度別明細	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成
事業・業務量			東児童館 バンド教室 4日間 ミュージカルクラブ 年12回 パソコン教室 3日間 西児童館 ダンスサークル 12日間 ナイトハイク	東児童館 バンド教室4日間 ミュージカルクラブ年12回 パソコン教室3日間 西児童館 ダンスサークル8日間 ナイトハイク (ロールプレイングゲーム)3日間
まちづくり指標 行政指標 協働指標			参加者からの調査により80%の人の満足度を得る。 バンド教室 参加者15人 ミュージカルクラブ 参加者15人 パソコン教室 参加者6人 ダンスサークル 参加者20人 ナイトハイク 参加者30人	バンド教室 参加者11人 参加者からの調査により80%の人の満足度を得た。 ミュージカルクラブ 参加者8人 パソコン教室 参加者4人 ダンスサークル 参加者4人 ナイトハイク(ロールプレイングゲーム)参加者44人
予算額(千円)			1,176	1,176
決算額(千円)				941
執行率(%)				80.00%

年間の実施スケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画					バンド教室7月22～25日								パソコン教室
結果					バンド教室7月22～25日								パソコン教室

変更計画の説明  
パソコン教室については、春休みに自由にパソコンが利用できるようにするため、開始時期を早めた。  
ナイトハイクについては、「まちは遊び場みんなで遊ぼう 歩いて走って生でロールプレイングゲーム」と題して実施した。

事業	817	事業名	児童館中学高校生交流事業	部内管理
----	-----	-----	--------------	------

(事業コード)	808217	(部課コード)	808
評価対象事業名	児童館中学高校生交流事業	部課係名	教育委員会 社会教育会館
事後評価	<b>主管課事後評価</b> 進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない) <span style="float:right">[ ]</span> 理由・ほぼ計画どおり進捗したが、パソコン教室については実施時期を春休みに早め、利用者の利便性、利用増に努めた。他方でダンスクラブについては、参加者が少なく、計画回数(12回)を実施(8回)できなかった。しかし、都大会(10月)、クラブ発表会(3月)にも参加した。 成果に対する評価 (大・中・小又はなし) <span style="float:right">[ ]</span> 理由・ハンド教室参加者11人に対するアンケート調査では、概ね80%の参加者の満足度を得た。またナイトハイクは、参加予定人数(30人)の50%を上回る44人もの参加者のもとで実施した。しかしダンスクラブについては、4人と少なかったが、参加者は十分に満足して取り組んでいた。 効率性・経済性に対する評価 (高・中・低) <span style="float:right">[ ]</span> 理由・全体を通して参加予定人員に対する参加実績数が若干少なかった。ただナイトハイクなどは、前年度25人の参加であったが、今年度は44人と参加者増の傾向がある。 総合評価 中学生対象事業の取り組みとしては初年度であったため、参加者数など課題が残されている。今後魅力ある事業内容とするため、中高生の目線での事業の組み立てや参加増につなげるポスター・チラシなどPR方法も含めた参加者募集方法等についても改善策の取り組みが必要といえる。		
	<b>事業事前審査会事後評価</b> 進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない) <span style="float:right">[ ]</span> 理由・ 成果に対する評価 (大・中・小又はなし) <span style="float:right">[ ]</span> 理由・ 効率性・経済性に対する評価 (高・中・低) <span style="float:right">[ ]</span> 理由・		
	総合評価 主管課の総合評価のとおり、中高生の目線で事業の見直しを図ることが望ましい。また、参加者負担についても、検討することが必要ではないかと思われる。		

事業	818	事業名	社会教育会館における市民向け IT 相談事業	部内管理
----	-----	-----	------------------------	------

(事業コード)	808218	(部課コード)	808
評価対象事業名	社会教育会館における市民向けIT相談事業	部課係名	教育委員会社会教育会館
基本計画の掲載	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	記入者名	中田 清 内3350
計画体系	第2部第1・4 2100400	歳出科目	一般会計 款:10.教育費 項:5.社会教育費 目:2.公民館費 事項:12.IT相談事業費
計画事業名	地域社会の情報化の推進	(款・項・目・事項)	
計画体系	第 部 第 - ( ) -	補助区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助 <input type="checkbox"/> 都補助 <input type="checkbox"/> 市単独
計画事業名		関連計画	なし
計画体系	第 部 第 - ( ) -	関係法規	
計画事業名			
事業の目的< 対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)> (対象) 平成13年度に実施したIT講習会受講者等を含め、広く一般市民 (意図) 平成13年度に実施したIT講習会のフォローアップとITリテラシーの向上を図るため、パソコン、インターネットの活用方法等、ITに関する幅広い相談に応じる			
事業の概要・期間 <input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年 (始期: 14年度 ~ 終期: 15年度) ITに関する幅広い相談により、市民のITリテラシーの向上を図る。また参加者からのアンケートや相談員からの相談記録等を検討し、より参加しやすい相談事業を促進する。 当該事務に従事する実質職員数 0.3人			
今年度の事業・業務量の説明 パソコンに関する基本的なことの疑問に答える。			
今年度のまちづくり指標の説明 参加者の満足度は、企画、施設、相談員の対応等の充実度を示す指標とする。目標800人とする。			
今後、市民満足度を評価するため別途調査を行う必要があるまちづくり指標			
他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値			

事業	818	事業名	社会教育会館における市民向け IT 相談事業	部内管理
----	-----	-----	------------------------	------

(事業コード)	808218 (部課コード)			808
評価対象事業名	社会教育会館における市民向けIT相談事業		部課係名	教育委員会 社会教育会館 (局・室)
年度別明細	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成
事業・業務量		当初計画なし	月曜日 午後40回 日曜日 午前午後40回	月曜日 午後40回 日曜日 午前午後40回
まちづくり 指標 行政指標 協働指標		当初計画なし	相談者のアンケート 調査により、80%の人の 満足度を得る。 相談者800人	相談者のアンケート 調査により、83%の人の 満足度を得た。 相談者数574人、相 談件数835件
予算額(千円)			2,352	2,352
決算額(千円)		0		2,352
執行率(%)		0		100

年間の実施スケジュール												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画		←										→
			日曜日(10時～17時) 相談員2人 40回 月曜日(13時～17時) 相談員1人 40回									
結果		←										→
			日曜日(10時～17時) 相談員2人 40回 月曜日(13時～17時) 相談員1人 40回									

変更計画の説明

事後評価	主管課事後評価	
	進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない)	1
	理由・計画どおりの日数を実施し、574人、835件の相談があった。	
	成果に対する評価 (大・中・小又はなし)	1
	理由・アンケート調査によると、相談者の83%が満足している。	
	効率性・経済性に対する評価 (高・中・低)	2
	理由・事業全体を委託することによって、効率性・経済性を確保した。	
	総合評価	
	市民の満足度も良好で目指した成果がほぼ達成できた。しかし、多様な市民要望にも応えるためには、パソコン環境の変化に対応した情報機器の導入や市民向けインターネット開放の取り組みが必要といえる。	
	事業事前審査会事後評価	
進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない)		
理由・		
成果に対する評価 (大・中・小又はなし)		
理由・		
効率性・経済性に対する評価 (高・中・低)		
理由・ 緊急雇用対策事業を活用したことにより、財政負担の軽減、効率的な事業実施が図られた。		
総合評価	住民ニーズを踏まえ、今後は柔軟に対応していくことが望ましいと思われる。	

事業	819	事業名	図書館の祝日開館及び開館時間の延長	部内管理
----	-----	-----	-------------------	------

(事業コード)	809219		(部課コード)	809	
評価対象事業名	図書館の祝日開館及び開館時間の延長		部課係名	教育委員会 図書館 (局・室)	
基本計画の掲載	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	214ページ掲載	記入者名	岩田 内3355	
計画体系	第7部第1・2 -5(1)-	7120511	歳出科目	一般会計 款:10教育費 項:5社会教育費	
計画事業名	開館時間の延長・開館日の拡大		(款・項・目・事項)	目:3図書館費 事項:3図書館管理運営費	
計画体系	第 部第 ・ -( )-		補助区分	<input type="checkbox"/> 国補助 <input type="checkbox"/> 都補助 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独	
計画事業名			関連計画		
計画体系	第 部第 ・ -( )-		関係法規		
計画事業名					

事業の目的< 対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)>

(対象)

三鷹市民をはじめとした図書館利用者

(意図)

市民のライフスタイル、ニーズに応えるため、図書館の祝日開館及び開館時間の延長を実施し、より一層「市民生活に密着した」図書館活動を推進する。

事業の概要・期間

単年度

複数年度

(始期:

14年度

~ 終期:

22年度)

祝日開館は14年5月から下連雀図書館を除く全館で実施。開館時間の延長は、今年度試行として夏季(7~8月)期間、駅前図書館を除き、開館時間を30分早め、午前9時30分開館とする。また、蔵書点検休館期間を2日縮減し、開館日の拡大、利用時間の延長を実施する。

当該事務に従事する実質職員数

0.1人

今年度の事業・業務量の説明

(本館を基準とする)

今年度は祝日開館9日実施による増と、蔵書点検期間2日縮減により、年間開館日は285日である。

夏季の開館時間延長は、期間中25.5時間増となる。なお、1日開館時間9時間で換算すると約3日分の増となる。

今年度のまちづくり指標の説明

(本館を基準とする)

開館日の日数の増は利用者にとっての図書館の利便性、サービスの充実度を示す指標である。開館日数は前年度比4.4%増、利用者(入館者)数は、前年度推定282,172人(前年度実績は4/24~3/31)の3.7%増の設定である。

今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標

他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値

隣接市区は祝日開館実施(今年度予定含む) 期間限定時間延長(夏季)は羽村市実施

年度別明細	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成
事業・業務量	本館・年間 270日開館	本館・年間 273日開館	年間祝日開館日 9日増・本館年間開館285日 (夏季開館時間延長 25.5時間)	年間祝日開館日 9日増・本館年間開館285日実施 (夏季開館時間延長 25.5時間)実施
まちづくり指標		本館利用者 (入館者)数 262,920人 (13.4.24~14. 3.31)	本館285日開館 本館利用者(入館者)数 292,544人	本館285日開館 本館利用者(入館者)数 301,721人に達した
行政指標				
協働指標				
予算額(千円)		祝日開館嘱託員報酬等	2,618	2,618
決算額(千円)				2,536
執行率(%)				96.9%

年間の実施スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画		○ 5/3 祝日開館の実施		○ 夏季開館時間延長 9:30~								
結果		○ 5/3 祝日開館の実施		○ 夏季開館時間延長 9:30~					○ ○ 年末年始休館12/29~1/3・2日短縮実施			

変更計画の説明

蔵書点検期間を定例の休館日を含め3日間短縮した。年末年始の休館日は13年度2日短縮を試行したが、14年度本格実施。

事業	819	事業名	図書館の祝日開館及び開館時間の延長	部内管理
----	-----	-----	-------------------	------

(事業コード)	809219		(部課コード)	809	
評価対象事業名	図書館の祝日開館及び開館時間の延長		部課係名	教育委員会 図書館 (局・室)	
事後評価	主管課事後評価 進捗状況評価 ( 計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない)		1		
	理由・祝日開館及び蔵書点検・年末年始の休館日の短縮実施、また夏季期間の時間延長により開館日、開館時間の拡大が図れた。 成果に対する評価 ( 大・ 中・ 小又はなし)		1		
	理由・本館の開館日は、前年比12日増の285日となり、利用者(入館者)は301,721人で当初の成果目標を達成できた。 効率性・経済性に対する評価 ( 高・ 中・ 低)		1		
	理由・嘱託員1人増により、窓口ローテーションを再編成し、祝日開館を実施したことにより、目標を超える入館者があり、効率性、経済性の効果があった。 総合評価・開館日及び開館時間の延長の実施に伴い、目標を上回る入館者があり祝日開館及び開館時間の延長が利用者の利便性の向上に寄与した。				
事業事前審査会事後評価	進捗状況評価 ( 計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない)		1		
	理由・		1		
	成果に対する評価 ( 大・ 中・ 小又はなし)		1		
	理由・		1		
総合評価	図書館は住民に身近な公共施設であり、その開館日数・時間拡大の取り組みは評価できるものである。一方、「図書館開館時間」が住民サービスを測る全国的に代表的なベンチマーク指標となっている現状から、本市図書館の水準を認識するとともに、更に利便性向上の方策について検討を進めることが望ましい。				

事業	820	事業名	学校図書館の地域開放の推進	部内管理
----	-----	-----	---------------	------

(事業コード)	809220		(部課コード)	809	
評価対象事業名	学校図書館の地域開放の推進		部課係名	教育委員会 三鷹駅前図書館 (局・室)	
基本計画の掲載	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	214ページ掲載	記入者名	赤木 71-0035	
計画体系	第7部第1・2-6-(2)-	7120621	歳出科目	款: 項:	
計画事業名	学校図書館の地域開放の推進		(款・項・目・事項) 目:	事項:	
計画体系	第6部第4・3-(7)-	6400373	補助区分	<input type="checkbox"/> 国補助 <input type="checkbox"/> 都補助 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独	
計画事業名	学校図書館の地域開放と市立図書館等との連携		関連計画		
計画体系	第 部第 -(-)-		関係法規		
計画事業名					
事業の目的< 対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)> (対象) 市内各小中学校の児童・生徒とその保護者など (意図) 学校週5日制に対応した児童・生徒の自発的な活動の場を提供するとともに、地域の生涯学習の拠点として、地域の人たちの身近な読書活動の場として活用する。					
事業の概要・期間 <input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度 (始期: 11年度 ~ 終期: 22年度)					
14年6月から、既3校に加え、新たに8校を地域開放し、原則として土曜日の午前9時から正午まで、(長期休業期間、学校行事、祝日等を除く)開放を実施する。					
当該事務に従事する実質職員数 図書館職員 0.1人					
今年度の事業・業務量の説明 13年度末までに、三中、四中、高山小で学校図書館の地域開放が実施済みで、14年6月8日に8校を加え、地域開放を実施。					
今年度のまちづくり指標の説明 地域開放された学校図書館の利用者数を示す指標。1回の開放で、小学校は全児童数の5%の利用を目標としている。					
今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標					
他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値 武蔵野市では、水曜日の午後と土曜日の全日を地域開放している。					



事業	821	事業名	図書館のインターネット予約システムの導入	部内管理
----	-----	-----	----------------------	------

(事業コード)	809221	(部課コード)	809
評価対象事業名	図書館のインターネット予約システムの導入	部課係名	教育委員会 図書館 (局・室)
基本計画の掲載	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 215ページ掲載	記入者名	岩田 内3355
計画体系	第7部第1・2-1-(1)- 7120111	歳出科目	一般会計 款:10教育費 項:5社会教育費
計画事業名	インターネットによる図書相談サービス等の実施	(款・項・目・事項)	目:3図書館費 事項:9情報処理関係費
計画体系	第部第・-( )-	補助区分	<input type="checkbox"/> 国補助 <input type="checkbox"/> 都補助 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独
計画事業名		関連計画	
計画体系	第部第・-( )-	関係法規	
計画事業名			

事業の目的< 対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)>  
 (対象)  
 三鷹市民をはじめ三鷹市立図書館の利用資格をもつ利用者  
 (意図)  
 図書館の資料を自宅等のパソコンから24時間予約受付を行うことによって、迅速な資料提供を行い、市民の利便性及び満足度の向上を図る。

事業の概要・期間 単年度 複数年(始期: 14年度 ~ 終期: 22年度)

現在の図書館システムにインターネット予約システム機能を設置し、図書館へ来館しなくても市立図書館の図書、逐次刊行物(貸出・発注中に限る)の予約申込みを受け付ける。9月1日稼働(予定)。  
 当該事務に従事する実質職員数 0.1人

今年度の事業・業務量の説明  
 従来のカウンターでの申込受付に加え、自宅等からでも申込可能なため、予約受付件数を前年比10%増とする。  
 (前年度34,000件)

今年度のまちづくり指標の説明  
 9月からスタートするインターネットによる予約受付を、全予約受付件数の5%に設定した指標である。

今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標

他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値  
 羽村市、立川市、調布市及び西東京市(14年6月から)で実施。

年度別明細	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成
事業・業務量			カウンター及びインターネットによる年間予約受付件数 37,400件	カウンター及びインターネットによる年間予約受付件数 48,558件
まちづくり指標 行政指標 協働指標			年間予約受付件数増(3,400件)に伴うインターネット予約受付件数1,870件	インターネット予約受付件数4,834件 (年間全予約受付件数の10%)
予算額(千円)			4,614	4,616
決算額(千円)				4,158
執行率(%)				90.1%

年間の実施スケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画	○	職員プロジェクトチームによる検討		○	業者決定と実施準備		○	9/1実施					
結果	○	職員プロジェクトチームによる検討		○	業者決定と実施準備		○	9/1実施					

変更計画の説明

事業	821	事業名	図書館のインターネット予約システムの導入	部内管理
----	-----	-----	----------------------	------

(事業コード)	809221	(部課コード)	809
評価対象事業名	図書館のインターネット予約システムの導入	部課係名	教育委員会 図書館 (局・室)
事後評価	主管課事後評価		
	進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない)		1
	理由・14年9月からインターネット予約を計画どおり実施した。		
	成果に対する評価 (大・ 中・ 小又はなし)		1
	理由・インターネット予約申込は、14年9月～15年3月、4,834件で、成果目標の2.6倍の申込みがあり、当初の成果目標を達成できた。全予約受付件数も48,558件で前年(34,434件)比41.0%増となり、予約図書の利用拡大の成果があった。		
	効率性・経済性に対する評価 (高・ 中・ 低)		1
理由・インターネット予約受付は多摩地域の中で先行グループとして実施し、カウンターでの予約処理事務の縮減、利用者が来館しなくても予約でき、効率性、利便性が高まった。			
総合評価・初年度(14年度)のインターネット予約システム機能の設定により、利用者の利便性が高まり図書館利用拡大の成果があった。			
事業事前審査会事後評価			
進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない)			
理由・			
成果に対する評価 (大・ 中・ 小又はなし)			
理由・			
効率性・経済性に対する評価 (高・ 中・ 低)			
理由・			
総合評価	今後も需要が見込まれることから、図書館の祝日開館及び開館時間の延長の検討と併せ、利用者の利便性の向上に向けたサービス内容を検討することが望ましい。		

事業	822	事業名	総合型地域スポーツクラブ設置の検討	部内管理
----	-----	-----	-------------------	------

(事業コード)		(部課コード)	806
評価対象事業名	総合型地域スポーツクラブ設置の検討		部課係名 教育委員会 スポーツ振興課 (局・室)
基本計画の掲載	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	218ページ掲載	記入者名 津田 内3323
計画体系	第7部第2・2-(1)-	7200211	歳出科目 一般会計 教育費 保健体育費
計画事業名	総合型地域スポーツクラブ設置の検討		(款・項・目・事項) 保健体育事業費 総合型地域スポーツクラブ育成事業費
計画体系	第 部 第 ・ -( ) -		補助区分 <input type="checkbox"/> 国補助 <input type="checkbox"/> 都補助 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独
計画事業名			関連計画
計画体系	第 部 第 ・ -( ) -		関係法規
計画事業名			
事業の目的< 対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)> (対象) 三鷹市民 (意図) 地域住民が主体的に運営するスポーツクラブで複数の種目が用意されており、地域の誰もが、年齢、興味・関心、技術レベルなどに応じて参加できる総合型地域スポーツクラブの設置を検討する。			
事業の概要・期間 <input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度 平成13年度 ~ 終期: 0年度 ) 地域に根ざした新しい形のスポーツクラブとして「総合型地域スポーツクラブ」の設置を検討する委員会を組織し検討を進める			
[当該事務に従事する実質職員数 0.2人]			
今年度の事業・業務量の説明 検討委員会の設置及び開催(8回程度) (検討委員会10名の選出)			
今年度のまちづくり指標の説明 検討委員会でモデルクラブの場所の選定や、市民ニーズに即したクラブ作りを検討する。			
今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標			
他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値			



事業	822	事業名	総合型地域スポーツクラブ設置の検討	部内管理
----	-----	-----	-------------------	------

(事業コード)				(部課コード)	806							
評価対象事業名	総合型地域スポーツクラブ設置の検討			部課係名	教育委員会 スポーツ振興課 (局・室)							
年度別明細	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成								
事業・業務量		準備・検討	検討委員会開催 (8回)	検討委員会実施 (7回)								
まちづくり指標 行政指標 協働指標			地区の選定 モデルクラブの内容 内容検討	モデルクラブの 内容検討								
予算額(千円)		0	356	356								
決算額(千円)		0		197								
執行率(%)		0		55.3%								
年間の実施スケジュール												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画				検討委員会設置・開催 ( 8 回開催 )								▶
結果						検討委員会設置・開催 ( 7 回開催 )						▶
変更計画の説明 設置要綱の内容に手間取り、検討委員会の開催が遅れた												
事後評価	<b>主管課事後評価</b> 進捗状況評価 ( 計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない) <span style="float:right">2</span> 理由・市内の総合型クラブを念頭において活動しているクラブの実態を把握して三鷹市にあった総合型について検討中 成果に対する評価 ( 大・ 中・ 小又はなし) <span style="float:right">2</span> 理由・まちづくり指数にあげた地区の選定とモデルクラブの内容の検討については、検討中であり当初の目標を達成することはできなかった 効率性・経済性に対する評価 ( 高・ 中・ 低) <span style="float:right">2</span> 理由・予算の執行は58%であるが、総合型について熱心に議論することができた											
	<b>総合評価</b> 総合型についての必要性や目的については議論できたが、市民に対する認知度は1割程度しかないので広報する必要がある											
	<b>事業事前審査会事後評価</b> 進捗状況評価 ( 計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない) <span style="float:right">2</span> 理由・ <span style="float:right">2</span> 成果に対する評価 ( 大・ 中・ 小又はなし) <span style="float:right">2</span> 理由・ <span style="float:right">2</span> 効率性・経済性に対する評価 ( 高・ 中・ 低) <span style="float:right">2</span> 理由・ <span style="float:right">2</span>											
	<b>総合評価</b> 庁内、住民協議会、関係団体等と調整を図りながら、検討を進めていくことが望ましい。											